

看護研究へのご協力をお願い

研究テーマ 大腿骨頸部骨折で入院した患者に発生したせん妄に関する分析

2021 年 4 月から 2024 年 3 月までに大腿骨骨折の手術を受けられ患者さんへ

1. 研究の概要

1) 研究の目的・意義

高齢化社会に突入した我が国では、入院患者の平均年齢も高くなっており、高齢者に特徴的な合併症への対応は看護上の大きな課題となっています。中でもせん妄は、転倒転落の危険因子であり、患者の安全を保つ上で特に大きな問題です。さらに、せん妄は、長期的な死亡率の上昇や認知機能の低下と関連があり、予防や早期発見、早期対応が極めて重要となります。一般的には高齢・認知症・脳梗塞、手術侵襲や薬物などの影響、疼痛・安静などによる苦痛、多数のライン類、身体的拘束、環境の変化などが原因でせん妄が発症すると言われています。

今回、大腿骨頸部骨折患者に対して、せん妄を起こした患者とせん妄を起こしていない患者の状況の調査をすることにしました。年齢・認知症の有無・脳疾患の有無、身体的拘束の有無と開始時期などから、当病棟における傾向を明らかにし、今後の課題とどのような看護が必要であるかを考える上で重要な情報になると考えます。

2. 研究の方法

2021 年度 4 月～2024 年度 3 月 大腿骨骨折で手術を受けた患者

(除外基準) (1) 治療および観察期間中に全身状態が悪化した患者

(2) その他研究者が研究対象者として適切でないと判断した患者

(3) 治療期間中に治療から脱落した患者

(中止基準) (1) 同意の撤回があった場合

1) 使用する試料・情報

本研究で使用する情報はカルテから以下です。

【取得する情報】年齢、性別、同居の有無、せん妄の有無・期間、認知症の有無、脳疾患の有無、身体的拘束の有無・方法・開始時期（予防的・せん妄発生時）・期間、抗精神・抗不安薬使用の有無、鎮痛剤の使用の有無、せん妄発生時の入院環境（個室・大部屋・窓際）

2) 情報の保存

本研究で収集した情報は、研究終了後は 5 年間保存させていただきます。
保存した情報を用い新たな研究を行なう際は、改めて臨床研究倫理審査委員会で審査を受け、承認された後に行ないます。その情報はホームページ上に掲示いたします。

3) 情報の保護

本研究で収集した情報は、原三信病院が管理するサーバーに保存し、ID/パスワードを用いて厳重に管理します。

3. 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の保護に支障の内範囲で、この研究計画書などを閲覧または入手することができますので、お申し出ください。研究結果は、学会や論文等で発表しますので、ご理解ください。

4. 情報の使用を望まれない場合

あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も、診療や病院サービスにおいて不利益が生じることはありませんので、ご安心ください。

5. 本研究の責任者および問い合わせ先

• 研究責任者

原三信病院看護部 東館 7 病棟科長 松永 享子
〒812-0033 福岡市博多区大博町 1-8
TEL : 092-291-3434

• 問合せ先

原三信病院 東館 7 病棟 金井 晃
〒812-0033 福岡市博多区大博町 1-8
TEL : 092-291-3434